

水運び名人



園庭の水道から砂場まで一生懸命水を運ぶ姿が！
しかも、バケツやジョウロではなく「オタマ」で。
そろりそろり。何度も何度も繰り返します。

隣ではバケツに水を入れて水を運ぶ男の子の姿も見られますが、オタマで何度も繰り返します。

最初の数回は砂場に着く頃にほとんどなくなっていた水。ですがしばらく様子を見てみると、次第にコツを掴み、水を半分以上運ぶことができるようになっていました。

「水運び名人だね」と声をかけるとニコッと笑い（見ててね！）と言わんばかりにもう一度見せてくれました。



子どもたちが夢中になって遊ぶ園庭。静かにでもとても集中して試行錯誤する姿と出会いました。

大人からすると「もっと楽に水を運ぶ方法あるような…」そんな姿ではありますが、この子にとってとても大切な「おもしろい！」と「試行錯誤」がここにはありました。

夢中になって水を運ぶうちに靴は濡れ、洋服にも掛かってしまう水でしたが、そんなことにはお構いなしに「今度はこうしてみよう！」「もっとこうしたら…」を繰り返します。次第に仲間も集まり、色々な方法で「水を運ぶ」を楽しむ姿がありました。夢中になることで深まる遊びやつながる仲間。そんな、集団だからこそその育ちや経験をこれからも大切に子どもたちと関わっていきたいです。

2026/01/21 福丸